

平成 28 年(2016 年)熊本県熊本地方を震源とする地震
非常災害対策本部会議(第14回)議事録

日時:平成28年4月23日(土)13:00~13:30

場所:中央合同庁舎8号館3階災害対策本部会議室

1. 非常災害対策本部長 発言

(防災担当大臣)

- 現地は雨につき、2次災害に注意が必要。
- ライフラインについては、停電は解消。水道・ガスも頑張ってくれている。ライフラインが回復すれば、被災者が避難所から帰宅できるので、引き続きよろしくお願ひしたい。
- 物流については、プッシュ型で物資を送り込む段階から、現地のニーズを汲みプル型で必要な物資を届ける段階になってきた。
- 高齢者等災害弱者をホテル・旅館等へ2次避難させる取り組みも市町村と連携し進めてもらいたい。
- ボランティアも多数現地に入ってきているので、力を合せて対応してもらいたい。
- 今後、生活再建、住宅支援等の段階に入っていく。家屋の応急危険度判定を速やかに進めていきたい。1人1人に寄り添った早期の生活再建を目指したい。
- 各省においては、オペレーションで大変世話になっている。引き続き、切れ目なく、垣根なく災害対応していきたいので、よろしくお願ひしたい。

2. 被害状況及び各省庁の対応状況について

(防災担当大臣)

- オペレーションがプッシュ型から、細かいニーズを吸い上げてプル型で動く段階に移ってきたので、業務の見直しをしてもらいたい。

(警察庁)

- 2名の連絡の取れない方の捜索を継続中。
- 避難者方からタブレット等を盗んだ窃盗被疑者1名を通常逮捕。
- 女性警察官 40 名以上が避難所等における防災指導、相談対応を実施。話を聞いてもらえるだけでもありがたいとの声あり。

(消防庁)

- 本日、緊急消防援助隊5県 169 隊 604 名、他地元消防で対応中。すべて南阿蘇村、高野台地区と阿蘇大橋地区で活動中。

(海上保安庁)

- 港で支援活動を行っている。飲料水 19t、入浴支援 885 名、食料 700 食を提供。緊急医療支援で 3 名搬送

実施。

- 本日も同様に支援を行う予定。

(防衛省)

- 本日 2.6 万人、航空機 132 機、艦艇 12 隻で対応。
- 生活支援として、給食・医療・入浴支援を実施。
- 本日の総理視察は支障なく進んでいる。
- 物流関係は、仮設トイレの輸送の他、オスプレイ2機でパン・水等の生活支援物資を輸送している。
- また、民間船舶「はくおう」について、260 名が利用する予定。

(総務省)

- 全国の自治体に要請し、896 名で支援を行っている。
- 南阿蘇村に東京都・兵庫県等から緊急に職員を派遣し、昨日の 57 名から本日は 109 名体制と倍増させている。さらに同町での活動職員だけでも 40 名追加予定。
- 罹災証明発行の支援も全国の自治体から支援を行う予定。
- 通信・放送は、ほぼ確保している。

(外務省)

- 新たに 4 カ国、1 機関からメッセージをいただいた。
- 現時点で 115 ヶ国、2 地域、26 機関からお見舞いのメッセージをいただいている。

(厚生労働省)

- DMAT54 隊、その他 114 チーム等を派遣。他、保健師、歯科医師会、医薬品等の支援も実施中。
- エコノミークラス症候群対策として、チラシの配布やコミュニティーラジオで注意喚起を実施中。
- 南阿蘇村で避難所となっている南阿蘇中学校で感染性胃腸炎が発生し、22 名の患者が出ている。ノロウイルスの可能性があり、日赤医療チームが対応中。患者は隔離して治療中。衛生材料やノロウイルスの検査キット等を手配中。
- 避難所でのインフルエンザ対策として、タミフルを確保している。
- 仮設トイレについては、現在の 50 人に1台から 20 人に1台と増設する予定。
- 熱中症対策として、チラシの配布や対策グッズの無償配布等を実施。
- 水道の断水は 23,226 戸で昨日から 1,500 戸減少。

(防災担当大臣)

- トイレの手洗い等ができていないか、避難所の状況を確認し、感染症対策を最優先で実施してもらいたい。

(農林水産省)

- 昨日までに合計 185 万食をプッシュ型で提供。今日から3日間は被災者のニーズに応じ、保存性の高い食品を中心に 20 万食を提供。本日はビスケット、栄養補助食品など約9万食を発送予定。

- 本日、農林水産大臣は G7新潟農業大臣会合に出席。両副大臣等を中心として、農林水産省一丸となって震災への対応に当たっている。

(防災担当大臣)

- ここまで数を減らして大丈夫か。

(農林水産省)

- 現地と調整済である。

(経済産業省)

- 電気は停電解消。ガスは未だ 9 万戸程度で供給停止中だが、どの地域がいつ頃までに復旧できるかの見通しを含む復旧計画を策定し、今月中に 6 割、5 月 8 日までの完全復旧を目指している。
- ガスの未復旧世帯には、カセットコンロを提供。
- コンビニ、スーパー、食料品店も順次営業を再開している。
- 中小企業対策として、林大臣出席のもと、協議会を設置し中小企業支援機関と意見交換をする予定。

(国土交通省)

- 九州新幹線は博多～熊本間が本日正午前に運転再開。
- JR三角線、熊本電気鉄道は本日午後に全線運転再開の見込み。
- 熊本～釜山港の定期コンテナ航路が本日から再開。
- 新たな土砂災害は起こっていない。

(環境省)

- 益城町及び熊本市において、計7市町村からごみ収集の支援を実施中。
- 周辺自治体の焼却施設でのごみの受入れ処理も開始。
- 災害廃棄物については初期から分別して集積している。

(内閣府防災担当)

- 災害ボランティアセンターを開設し、対応中。
- AMDAの医療活動等、専門ボランティアも活動中。

(防災担当大臣)

- 罹災証明の見通しはどうか。応急危険度判定と同時にできるか。

(総務省)

- 要請があり次第、全国の自治体から支援を行う予定。

(内閣府防災担当)

○ 応急危険度判定と同じタイミングでできればよいが、人出が足りず難しいかと思う。

(防災担当大臣)

○ 和式トイレにアタッチメントを取り付けて洋式に転換するニーズが高いが、対応は。

(経済産業省)

○ 動いている。

(防災担当大臣)

○ 災害ゴミの分別はどうか。

(環境省)

○ 問題なく実施できている。環境省も職員を派遣している。

(内閣危機管理監)

○ 2次災害の防止には、例えば作業中の監視要員の配置等、具体的な指示をして万全を期してもらいたい。

○ 河川に土砂が流れ込み、今後水害等の被害が発生する可能性もある。水害時の更なる避難所の確保や、避難の在り方について検討しておいてもらいたい。

○ 出水期に向けて、河川が土砂で埋まっていたりするところもあるので、具体的な状況把握と改善を図ってもらいたい。

(国土交通省)

○ 土砂災害の危険箇所約 1,100 箇所の点検を実施しているところ。

(気象庁)

○ 地震はここ数日減ってきているが、強い地震が発生する可能性が減っている訳ではないので、引き続き警戒が必要。

○ 27日は強い雨が降る可能性がある。随時、情報提供していきたい。

(防災担当大臣)

○ 発災以来各省庁には大変世話になり、感謝申し上げる。

○ フェーズが変わりつつある。

○ 総理が本日視察に行っているの、また色々指示があるかと思う。

○ 次回は、明日午前中に開催するのでよろしくお願いいたします。

以上